

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス すきっぷ美瑛2nd		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 15日		～ 令和 8年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 25日		～ 令和 8年 3月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	野球支援やスキー支援を軸に、子どもたちの自信や挑戦する気持ちを重視していること。	日々の苦手な事にも挑戦し、経験を積み重ねて行く中で、頑張りや経験を褒め、野球検定や試合、スキー検定などの場で、力を発揮し「達成感・自信」へと繋がられるよう一人ひとりに合わせた声掛けを行なっています。	多くのお子様挑戦する機会をもってもらえるよう日頃の支援から、楽しさを見つけてもらえるような支援を心掛けていきます。その為により充実した支援内容となるようマンネリ化させないよう支援を行なっています。
2	活動を通して体験や経験を積み重ねられる内容。	活動では、静と動の活動バランスを意識し、様々な角度から学びや経験に繋がられるように支援を提供しています。外出や行事などでは日頃の支援で身に付けた礼節や集団行動を意識できる場を提供しています。	内容をより充実化させる為、新しい取り組みを積極的に取り入れていきます。
3	安心して笑顔で過ごせる場	通所していただく中で、安心感のある場所となるよう日々小さな変化や様子を見逃さないよう一人ひとりと向き合い支援を行なっています。また気持ちや思いをこの先生になら話せるといった環境作りを大切にしています。	お子様の気持ちや訴えをまずは受け止め、話を聞いてあげられる環境をより意識して作っていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様への情報共有が不足してしまっている。	日々の様子やできごとの情報共有が不足しており、より詳しく簡潔に伝えられるよう送迎時での引継ぎや連絡帳、LINEを活用しきれいいなかった。	日々の様子をより伝えられるよう連絡を充実させていきます。
2	・限られたスペースをどれだけ有効活用していくか。	一定の改善を日頃から取り組んでいるが、固定概念を払拭できず新たな取り組みが難しかった。	整理整頓や不要な物を減らす取り組みを継続して行なっていきます。その中で物の配置や限りあるスペースの中でより充実した支援内容を模索し、新たな取り組みを行なっていきます。
3	・保護者様同士の交流やごきょうだいの交流の発信不足。	年に1回親子行事や運動会、紅白戦などの機会を設けているが、ご参加いただく為の発信力が足りなかった。	今後は、発信力を高め多くのご家族に参加していただけるよう取り組んでいきます。